

国保財政健全化変更計画書

(平成30年度から令和11年度まで12ヵ年計画)

| | | |
|-------|-------|------|
| 都道府県名 | 保険者番号 | 保険者名 |
| 東京都 | 029 | 府中市 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|----------------|---------------|--|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ① 赤字の発生状況 | 年度(赤字発生年度) | 平成28年度 | | 赤字の原因 | | | | | |
| | 法定外繰入金 ※1 | 2,479,929千円 | | ・歳入:被用者保険、後期高齢者医療制度等への移行による被保険者数の減少及び高齢者割合の増加に伴い、収納率は向上しているものの保険税収は横ばいが続いている。 ・歳出:被保険者数の減少等により保険税収は横ばいとなっているにもかかわらず、医療の高度化等により被保険者1人当たり医療費が増加している。 | | | | | |
| | 繰上充用金の新規増加分 ※2 | 千円 | | | | | | | |
| | 赤字額(合計) | 2,479,929千円 | | | | | | | |
| ② 赤字削減計画 | 赤字削減・解消のための基本方針 | | | 赤字削減・解消のための具体的取組内容 | | | | | |
| | ①決算ベースの令和4年度の赤字額:2,812,139千円 ②解消の目標年次:令和24年度 ③赤字削減・解消手段の主要事項 ・保険税率等を計画的に見直し、段階的に引き上げる ・医療費の適正化及び被保険者の健康保持・増進への取組の実施 ・適正な賦課の実施 第7年次以降の法定額繰入の削減予定額は令和5年度の被保険者数及び医療費等に変動がないことを前提とした数値である。 | | | ・当市の国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、保険税率等の見直しを原則2年に1回行う。令和6年度においては、179,897千円の調定増を見込んでいる。 ・当市のデータヘルス計画に基づき保健事業を実施し、医療費の適正化及び被保険者の健康保持・増進に努める。 ・適正な所得把握、二重加入調査などを実施し、適正な賦課に努める。 | | | | | |
| | 年度別の赤字削減予定額(率) ※3 | 計画年次 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | 合計 |
| | | 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| | | 法定外繰入の削減予定額(率) | 0 千円(%) | 214,889 千円(%) | 102,611 千円(%) | 172,522 千円(%) | 100,000 千円(%) | 172,476 千円(%) | 762,498 千円(%) |
| 繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率) | | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | |
| 合計赤字削減予定額(率) | 0 千円(%) | 214,889 千円(%) | 102,611 千円(%) | 172,522 千円(%) | 100,000 千円(%) | 172,476 千円(%) | 762,498 千円(%) | | |

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。
 ※2 当該年度の繰上充用(当該年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。
 ※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり国保財政健全化変更計画書を提出します。

令和6年3月7日

東京都知事 殿

保険者名 府中市

代表者職氏名 府中市長 高野 律雄 印

様式第1(その2)

国保財政健全化変更計画書

(平成30年度から令和11年度まで12ヵ年計画)

| | | |
|-------|-------|------|
| 都道府県名 | 保険者番号 | 保険者名 |
| 東京都 | 029 | 府中市 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|----------------|---------------|--|---------------|---------|---------------|---------|---------------|
| ① 赤字の発生状況 | 年度(赤字発生年度) | 平成28年度 | | 赤字の原因 | | | | | |
| | 法定外繰入金 ※1 | 2,479,929千円 | | ・歳入:被用者保険、後期高齢者医療制度等への移行による被保険者数の減少及び高齢者割合の増加に伴い、収納率は向上しているものの保険税収は横ばいが続いている。 ・歳出:被保険者数の減少等により保険税収は横ばいとなっているにもかかわらず、医療の高度化等により被保険者1人当たり医療費が増加している。 | | | | | |
| | 繰上充用金の新規増加分 ※2 | 千円 | | | | | | | |
| | 赤字額(合計) | 2,479,929千円 | | | | | | | |
| ② 赤字削減計画 | 赤字削減・解消のための基本方針 | | | 赤字削減・解消のための具体的取組内容 | | | | | |
| | ①決算ベースの令和4年度の赤字額:2,812,139千円 ②解消の目標年次:令和24年度 ③赤字削減・解消手段の主要事項 ・保険税率等を計画的に見直し、段階的に引き上げる ・医療費の適正化及び被保険者の健康保持・増進への取組の実施 ・適正な賦課の実施 第7年次以降の法定額繰入の削減予定額は令和5年度の被保険者数及び医療費等に変動がないことを前提とした数値である。 | | | ・当市の国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、保険税率等の見直しを原則2年に1回行う。令和6年度においては、179,897千円の調定増を見込んでいる。 ・当市のデータヘルス計画に基づき保健事業を実施し、医療費の適正化及び被保険者の健康保持・増進に努める。 ・適正な所得把握、二重加入調査などを実施し、適正な賦課に努める。 | | | | | |
| | 年度別の赤字削減予定額(率) ※3 | 計画年次 | 第7年次 | 第8年次 | 第9年次 | 第10年次 | 第11年次 | 第12年次 | 合計 |
| | | 年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | |
| | | 法定外繰入の削減予定額(率) | 179,897 千円(%) | 0 千円(%) | 302,534 千円(%) | 0 千円(%) | 299,700 千円(%) | 0 千円(%) | 782,131 千円(%) |
| 繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率) | | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | — 千円(%) | |
| 合計赤字削減予定額(率) | 179,897 千円(%) | 0 千円(%) | 302,534 千円(%) | 0 千円(%) | 299,700 千円(%) | 0 千円(%) | 782,131 千円(%) | | |

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当該年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり国保財政健全化変更計画書を提出します。

令和6年3月7日

東京都知事 殿

保険者名 府中市

代表者職氏名 府中市長 高野 律雄 印